

2021年11月12日

各位

会社名 佐世保重工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 名村 建介
問合せ先 総務部長 廣津 忠
(Tel 0956-25-9111)

「2022年3月期第2四半期連結決算」に関するお知らせ

当社グループの2022年3月期第2四半期連結決算について下記のとおりお知らせします。

記

1. 当第2四半期連結決算の状況（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 損益状況

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年3月期 第2四半期	11,560	412	457	▲308
2021年3月期 第2四半期	16,137	▲1,125	▲1,259	▲1,247

(2) 売上高のセグメント別内訳

(単位：百万円)

	新造船	艦艇修繕船	機械	その他	合計
2022年3月期 第2四半期	6,494	3,741	1,033	290	11,560
2021年3月期 第2四半期	11,348	3,041	1,424	323	16,137

(注) 百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当社事業再構築の進捗状況および当第2四半期の業績について

(1) 事業再構築の進捗状況

当社は本年2月に公表しました事業再構築計画に基づき、新造船事業の休止と艦艇修繕船事業及び機械事業への経営資源の集中などの再構築事業に取り組んでおります。

計画初年度となる当第2四半期においては、新造船事業の休止に伴う希望退職制度を実施しましたほか、新造船建造については現在までに計画どおりに4隻の完工・引渡しを完了、残る1隻についても進水まで完了しており、来年1月の完工・引渡しに向けて順調に建造が進捗しております。

また今後、当社の主力事業を担う艦艇修繕船事業については、経営資源の再配分として新造船事業部門からの配置転換による人材強化や設備投資の実施による体制強化を図っており、親会社である株式会社名村造船所の営業支援を受けて今後需要が見込めるLNG運搬船の修理工事を受注・施工したほか、国内艦艇の定期検査工事や保安庁船の修理工事などにも積極的に取り組んでおります。

以上のとおり、当社の事業再構築計画は順調に進捗しており、引き続き早期黒字化と安定収益体制の構築に取り組んでまいります。

(2) 当第2四半期の業績等

当第2四半期連結累計期間の売上高は、艦艇修繕船事業において国内艦艇の定期検査工事を売上に計上したことによる増加はあったものの、新造船事業の休止に伴う操業度の低下や機械事業の主力製品である船用クランク軸の売上減少により11,560百万円（前年同期16,137百万円）となりました。

損益面では、為替が円安に推移したことにより新造船事業の採算が改善したことに加えて、国内艦艇の定期検査工事やLNG運搬船の修繕工事の施工などによる艦艇修繕船事業の利益計上により、連結営業利益は412百万円（前年同期は1,125百万円の営業損失）、連結経常利益は457百万円（前年同期は1,259百万円の経常損失）となり大幅に改善しました。

なお、親会社株主に帰属する当期純損失は、希望退職者の募集に関わる費用を特別損失として計上しました結果、308百万円（前年同期は1,247百万円の純損失）となりました。

引き続き全社を挙げて事業再構築に取り組み、当期純利益の早期黒字化の実現および安定収益体制の構築に取り組んでまいります。

以 上

<p>【問い合わせ先】 佐世保重工業(株) 総務部長 廣津 忠 (0956-25-9111)</p>
--